



MS303-58001

パフォーマンスダンパーセット

SPORTY DRIVING PARTS

取付・取扱説明書

この度はアルファード・ヴェルファイア用、TRDパフォーマンスダンパーセットをお買い上げ頂き、有難うございます。本書には上記の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。

取付け前に必ずお読み頂き、正しい取付け、取扱いを実施して下さい。なお、本書は必ずお客様にお渡し下さい。

本商品は、車両登録後に取付けを行って下さい。
登録前に取付けを行った場合、持込みの新規検査が必要となります。

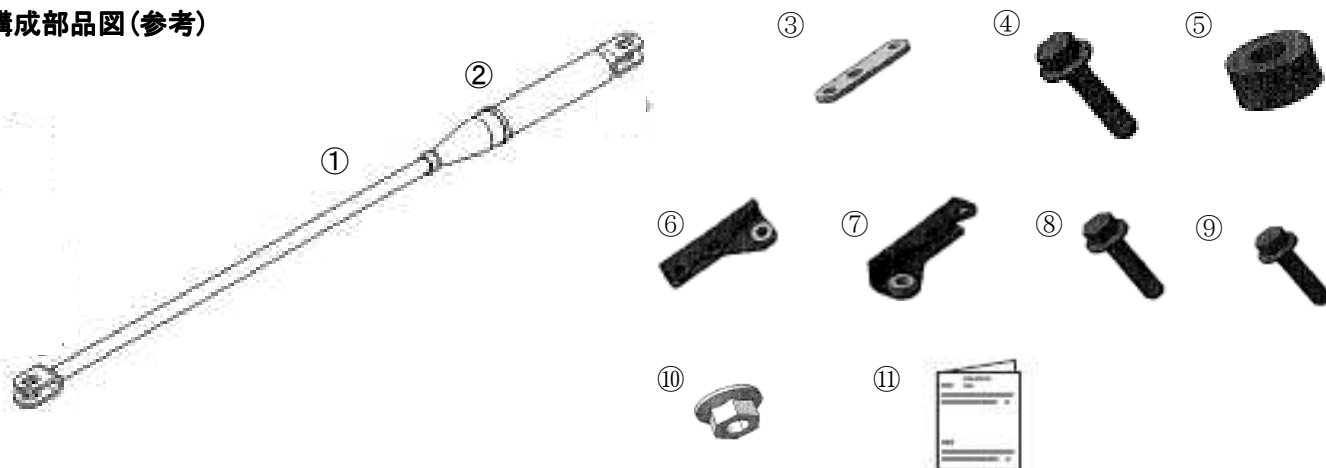
■ 品番・適合車種

品番	適合	型式	年式	備考
MS303-58001	アルファード	ANH20W	'08. 05 ~	
	ヴェルファイア	GGH20W		

■ 構成部品

	部品名	品番	数量	備考
①	パフォーマンスダンパー FR		1	参考 L 860mm (取付穴中心値)
②	パフォーマンスダンパー RR		1	参考 L 687mm (取付穴中心値)
③	ダンパーブラケット FR		2	①取付用
④	フランジボルト	91552-L1240	4	(純正品)③×ボディー用 M12×P1.25×L40
⑤	スペーサー		2	FRダンパー固定用
⑥	ダンパーマウンティングBKT RH		1	
⑦	ダンパーマウンティングBKT LH		1	
⑧	ワッシャボルト	91674-A1028	4	(純正品)⑥⑦×ボディー用 M10×P1.25×L34
⑨	フランジボルト	91552-B1040	4	(純正品)ダンパー両端固定用 M10×P1.25×L40
⑩	フランジナット	94151-81041	4	(純正品)ダンパー両端固定用 M10×P1.25
⑪	取付取扱説明書(本書)			

構成部品図(参考)



■取付・取扱上のご注意

⚠警告：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。

⚠注意：この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行なうと、人が傷害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。

※確認・本商品到着後は直ぐに開封し、内容物に破損がない事、本書に記載されている付属品がすべて揃っている事を確認して下さい。本商品は過去に事故歴の無い車両に確実に取付け出来ます。

⚠注意 本商品の取付け、交換の際は該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守って作業を行なって下さい。

⚠注意 本商品は未登録車両への取付けは出来ません。必ず車両登録後に取付けを行なって下さい。

⚠警告 本商品の取付作業・部品交換は必ず専門の整備工場で行なって下さい。

⚠警告 本商品は適合車種以外には使用しないでください。破損や故障により、重大な事故を招く場合があります。

⚠警告 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認後、行って下さい。不安定な場所での作業、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。

⚠警告 エンジンルーム、マフラーなどの付近で取付作業を行なう際は、必ず各部が冷えていることを十分確認後、作業を開始して下さい。熱い状態で作業を行なうと、ヤケド等の重大な傷害を負う場合があります。

⚠警告 車両に付いている純正ボルト・ナット等を再使用する部分については、ボルト・ナットが錆びたり劣化したりしている場合、必ず新品に交換して下さい。

⚠警告 取付けの際は、指定トルクに従って各ボルト・ナット類を十分に締付けてください。取付時に緩みがあると徐々に緩んできて、脱落などにより重大な事故を招く恐れがあります。

⚠警告 取付後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談下さい。そのまま走行すると破損や故障の原因となり、重大な事故を招く場合があります。

⚠警告 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意下さい。

⚠警告 急発進、急制動、急旋回などの無理な走行、乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の発生をも誘発することになりますので、絶対におやめ下さい。

⚠警告 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路での走行は十分な安全スピードで走行するようお願いします。

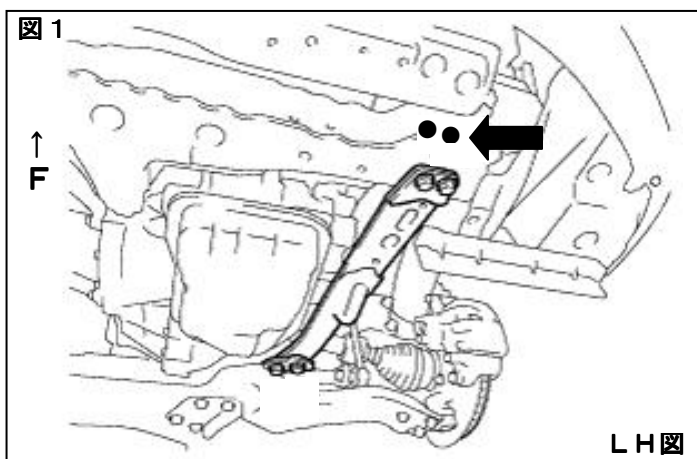
⚠警告 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に、変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめ下さい。

⚠警告 走行中に異常を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。

⚠警告 本商品への改造、加工は絶対に行なわないで下さい。保証が受けられないだけでなく、破損や、重大な事故の原因となる場合があります。

⚠注意 取付作業や、走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着手順を必ずお守り下さい。

- 車両への取付作業は当該車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、又、本書の注意・警告事項を守って作業を行って下さい。

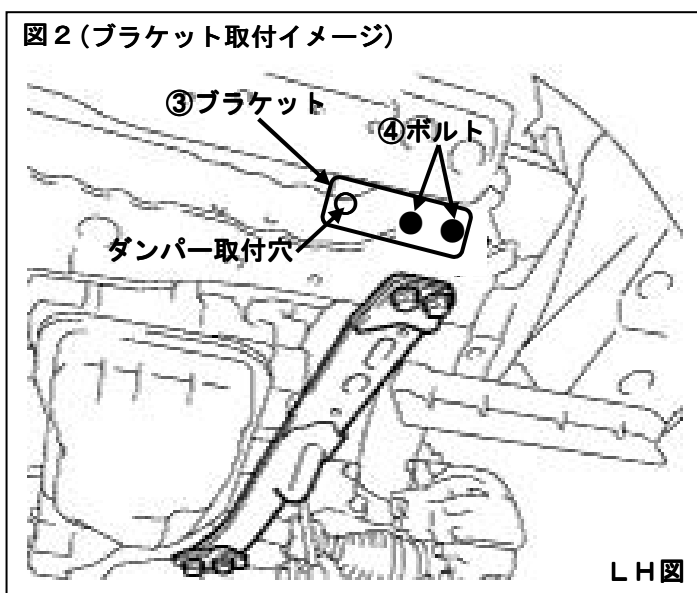


1. フロントパフォーマンスダンパーの取付 ダンパー取付部のボルト取外し

1. エンジンアンダーカバーNo.1を取外す。
2. フロントバンパーローアアブソーバーを取外す。(バンパー下側補強材)
3. 図1を参考に矢印部分のフロントクロスメンバーから前側のボルト2本●を取外す。(ボルトは再使用せず、同梱品に交換)

アドバイス

取外しボルトの確認については次ページの図6写真でも確認出来ます。

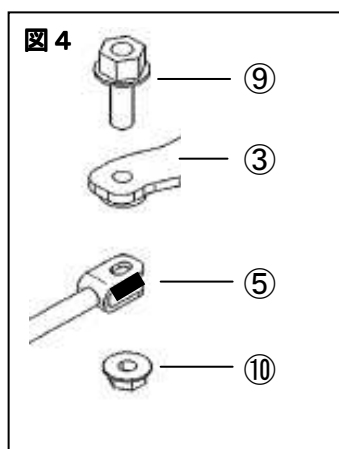
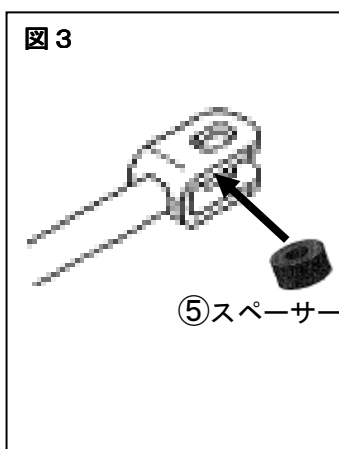


2. ダンパーブラケットの取付

1. 構成部品④のボルトを使用し、③のダンパーブラケットを9.6 Nmで車両へ取付ける。
2. RH側も同様に車両側のボルトを外し③ブラケットを取付ける。

3. パフォーマンスダンパーの取付

1. 図3のようにダンパーの両端部に構成部品⑤のスペーサーを入れる。
2. 図4を参考に作業2で取付けたブラケットの上方から構成部品⑨のボルトを入れる。スペーサーを入れたパフォーマンスダンパーのシリンダー側を助手席側にしブラケット下側へ⑩のナット使用し取付ける。



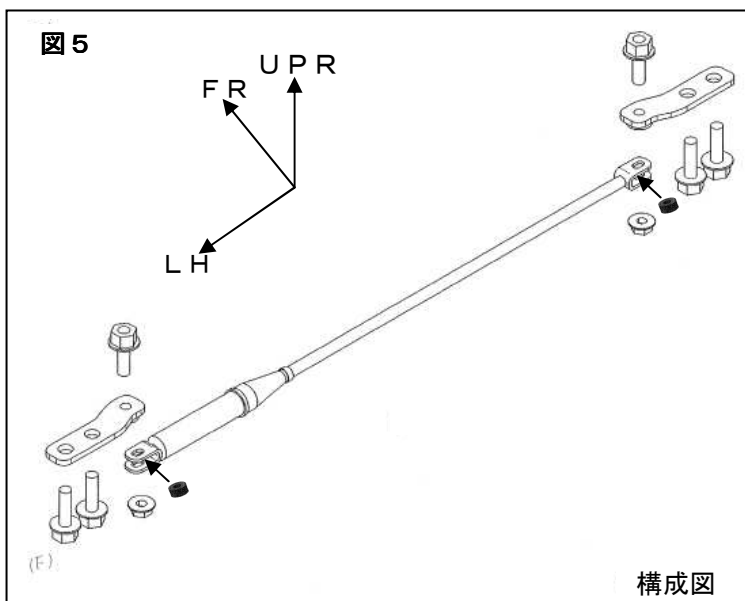
⚠注意

パフォーマンスダンパー取付用ブラケット③は取付時、ボルト④で9.6 Nmの締付をしますが、⑨×⑩は手締め程度の仮締めとして下さい。本締めは後の作業になります。

アドバイス

1. 図4の組付作業を先に実施し、Assy化した状態で車両へ取付ける事も可能。
2. その際もパフォーマンスダンパー取付部の締付けは、上記注意事項に準じた手順で実施して下さい。

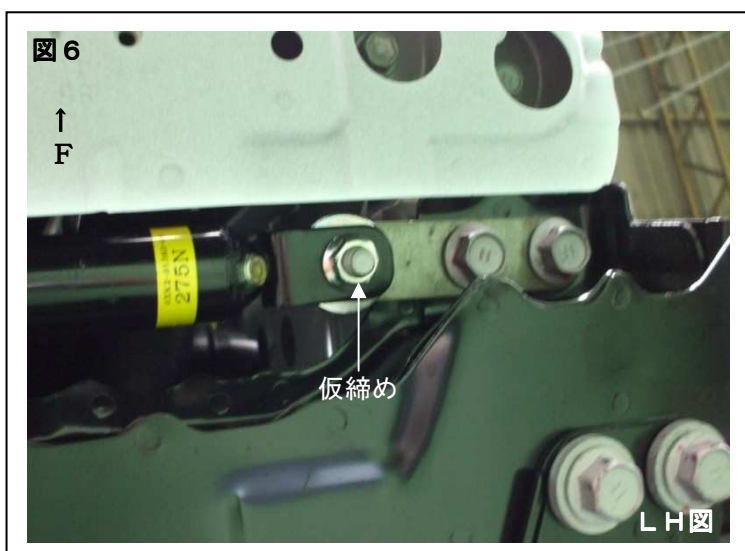
※ 図3、図4のみRH側の図、LH側も構成は同様。



5. 組付全体イメージ図

1. 図5がフロント用全体の構成イメージ
アドバイス

図5においてパフォーマンスダンパー取付用
ブラケットの形状がクランク型となっていま
すが、本車両の同梱部品形状はフラットプレ
ート形状となります。

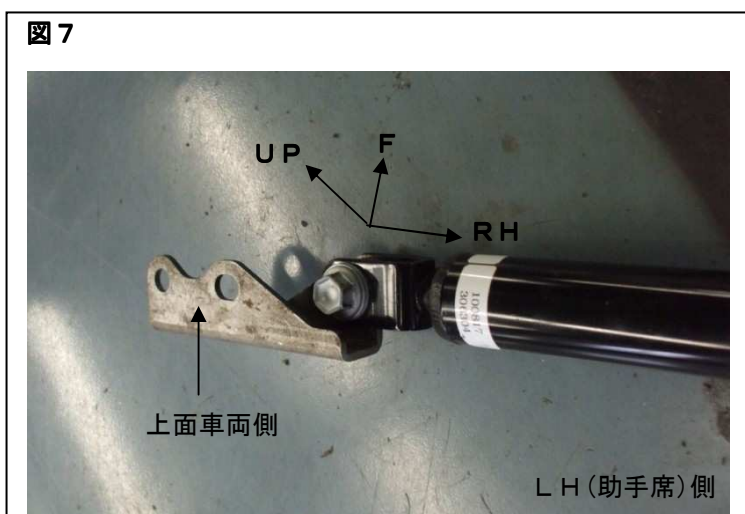


2. 図6 (写真) が車両への取付図 (LH側)

⚠注意

パフォーマンスダンパー取付部 (⑨×⑩) の
締付けは、リフトUP等でサスペンションが
伸びている状態で無く、タイヤが地面に接地
し車両の荷重が掛かっている状態で締付け
ますが、リヤの取付作業後になります。

※ 締付トルク 55 Nm

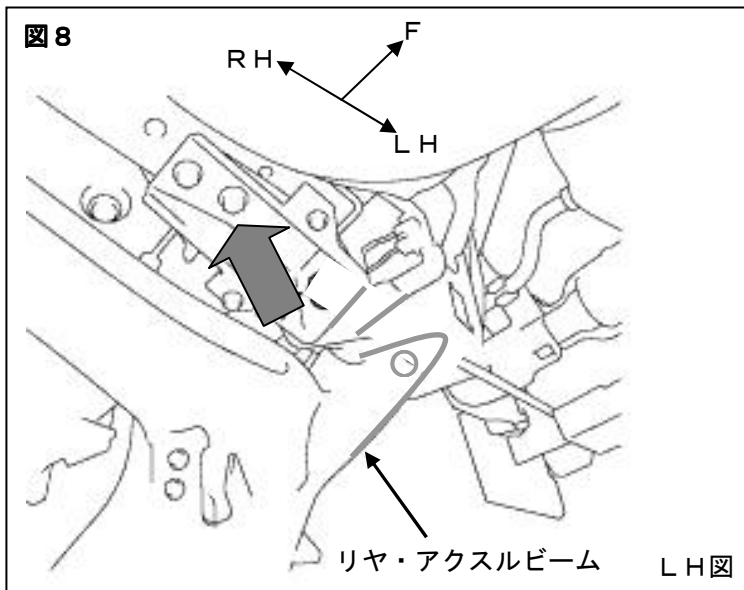


6. リヤパフォーマンスダンパー取付 (ダンパー×ブラケット Ass y化)

1. 図7の写真を参考に、パフォーマンスダン
パーのシリンダーをLH側にし、構成品⑦
のブラケット開口部がフロント側に向く
状態でパフォーマンスダンパーに取付ける。
(RH側は⑥を取付る)

⚠注意

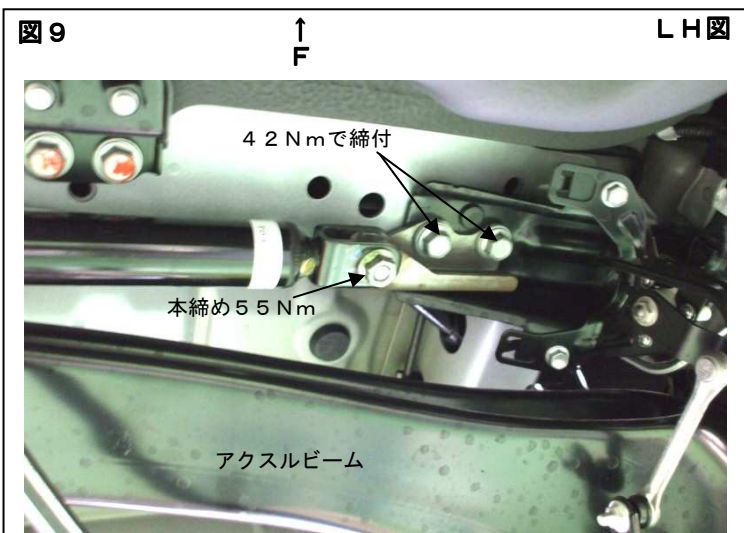
1. リヤパフォーマンスダンパーはブラケッ
トを車両に取付けてからダンパーを付け
る事が出来ません。図7の写真を参考に
左右共ダンパーにブラケットを取付け、
Ass y化して車両に取付けて下さい。
2. ⑨×⑩は手締めの仮締めとして下さい。



2. 図8に矢印で示すリアアクスルビームサブプレート取付ボルト2本を左右共に取外す。
(取外したボルトは再使用しない)
3. 2で外したボルト位置に6-1でブラケットを付けてAssy化してあるパフォーマンスダンパーを⑧ボルトを使用して左右共に42Nmで車両に取付ける。
4. 図9の写真がパフォーマンスダンパーを車両LH側に取付けた状態。

アドバイス

フロント側と同じく、この状態ではダンパー取付ボルトは締めないで下さい。



7. パフォーマンスダンパー取付ボルトの締付け作業

1. 車両を作業ピット又は乗上げ式プレートリフトに搬入する。
2. 前後共にブラケットの取付ボルトが規定トルクで車両に取付けられているか確認する。
(フロント96Nm、リア42Nm)
3. 前後共に仮締めのパフォーマンスダンパー取付ボルトを1度緩めてフリーにする。
4. 車両をゆすって安定させた後に取付ボルトを前後共に55Nmで確実に締付ける。
5. フロント部のバンパーローアアブソーバーとエンジンアンダーカバーNo.1を復元し作業終了。

8. 取付作業後の確認

取付終了後に3～5Km程度の通常走行を行い、各部干渉やパフォーマンスダンパー取付による異音の発生が無いを確認する。